

初秋の草木湖畔を約1000人が駆け抜けました (草木湖マラソン)

第40回草木湖一周マラソン全国大会(主催:群馬県みどり市・草木湖マラソン実行委員会)が、9月16日(日)に開催されました。晴れて気温も上がるコンディションの中、913人のランナーが草木湖沿道を走りました。

本大会は、小学生が参加する1.5km、中学生の4km、高校生以上の一般の方の12kmと19kmの4コースがあり、男女別、年齢別に順位を競います。遠方(宮城県、富山県、大阪府)からの参加者や高齢者の方々も含め、参加した皆さんがそれぞれの目標に向かって各コースに挑んでいました。昨年に続き、桐生警察署のランニングポリスも参加し、完走しながらコースの警戒に当たりました。

草木ダムでも本大会に協力し、草木ダム管理所長は一般12kmのスターターを務めました。スタート前の挨拶で選手達の緊張を和らげ、号砲を響かせると、選手の皆さんは一斉に走り出しました。スタート・ゴール地点は、ダム直下流の東(あずま)運動公園で、スタート直後はダムまでの上り坂が続く、その後も湖畔の起伏に富んだ道路、草木湖の横断橋や堤頂道路などを走る厳しいコースですが、豊かな自然とたくさんの賞品もあります。開始から40年となる今年の大会では、地元の詩画家・星野富弘氏の描いた「走」の文字が印刷されたTシャツが参加者全員に配られました。

これから、草木ダム周辺は紅葉のシーズンを迎えます。わたらせ渓谷鐵道を利用したウォーキングコースや、湖畔の遊歩道も整備されていますので、是非草木ダム・草木湖にお越しください。

(草木ダム下流の運動公園をスタートしました)



(ダム堤頂左岸に到着。これより、草木湖上流へと向かいます)



(みなさん思い思いのゴールをしました)



(草木湖を一周し、堤頂に帰って来ました)